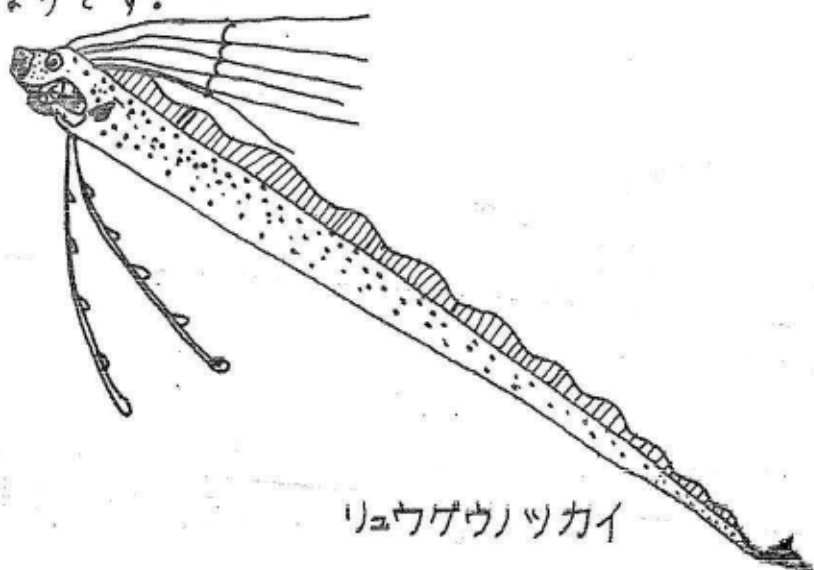


リュウグウノツカイ

深海には変わった形の魚がたくさんすんでいます。自然史展示室の「深海の動物」のコーナーに展示してあるリュウグウノツカイもかなりの変わりものといえましょう。展示室のリュウグウノツカイは長さが3m50cmですが、10mに達するものも知られています。

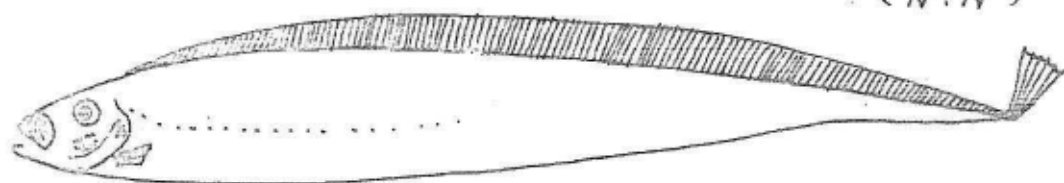
展示室の標本は色が白っぽくなっていますが、生きている時は、体の色が銀白色であり、頭の上にあるかみの毛のような長いひれが赤いので昔の人には「竜宮の使い」と、うったのでしょうか。また「竜宮のニワトリ」とか「人魚」とも呼ばれていたようです。

この魚は深さが100mから700mの深い海に住んでおり、下の図のように体をななめ上に向け、背ひれを波うたせて沈むのを防いでいるようです。

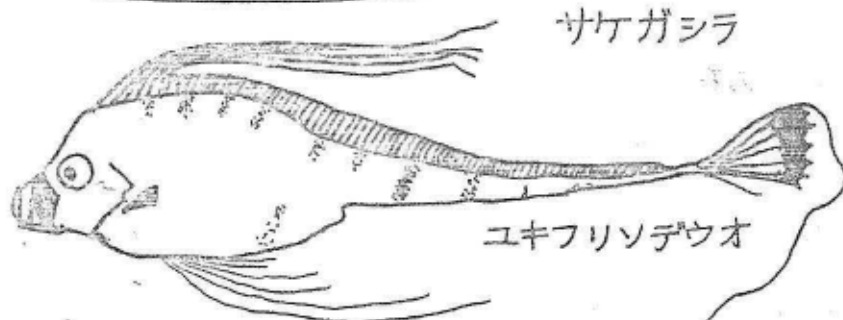


リュウグウノツカイ

リュウグウノツカイはアカマンボウ目というなかまに属しています。リュウグウノツカイの親せきにあたる種類には、サケガシラ・ユキフリソデウオ・アカナマダ・テンガイハタ・ナガユメタチモドキなどがあります。いずれも同じように鮮やかな色をして、変わった形をしたなかまです。このなかまは新潟地方などでは「おいらん（花魁）」とも呼ばれています。なお、このうち、サケガシラとユキフリソデウオがこのコーナーに展示してあります。(N.N)



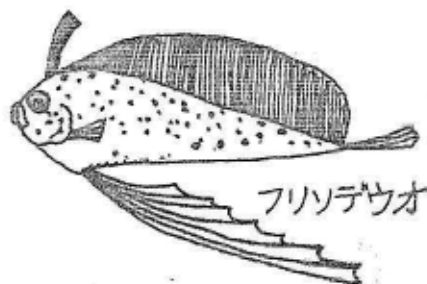
サケガシラ



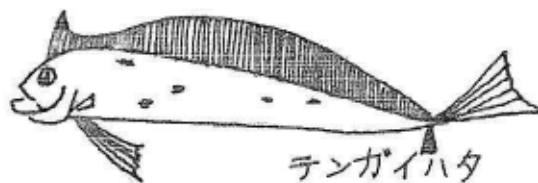
ユキフリソデウオ



アカナマダ



フリソデウオ



テンガイハタ

富山市科学文化センター

☎ 9 / - 2 / 2 3

〒 930 - 11

富山市西中野町 3 丁目 / 番 / 9 号

昭和 54 年 12 月 10 日 発行